

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月14日

【四半期会計期間】 第164期第3四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 静岡瓦斯株式会社

【英訳名】 SHIZUOKAGAS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 戸野谷 宏

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号

【電話番号】 054(284)4141(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信

【最寄りの連絡場所】 静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号

【電話番号】 054(284)4141(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第163期 第3四半期連結 累計期間	第164期 第3四半期連結 累計期間	第163期 第3四半期連結 会計期間	第164期 第3四半期連結 会計期間	第163期
会計期間	自 平成22年 1月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 1月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 7月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 1月1日 至 平成22年 12月31日
売上高 (百万円)	88,528	93,369	28,963	31,366	118,319
経常利益又は 経常損失() (百万円)	4,512	2,435	546	316	7,215
四半期(当期) 純利益又は 四半期純損失() (百万円)	2,709	929	518	354	4,303
純資産額 (百万円)	-	-	54,219	54,787	56,155
総資産額 (百万円)	-	-	111,442	109,928	108,362
1株当たり純資産額 (円)	-	-	610.81	640.19	634.36
1株当たり四半期 (当期)純利益又は 四半期純損失() (円)	35.57	12.21	6.81	4.67	56.51
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	41.7	42.6	44.6
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	279	7,941	-	-	6,684
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	8,100	7,459	-	-	9,534
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,777	743	-	-	1,462
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	-	-	1,002	472	734
従業員数 (人)	-	-	1,112	1,104	1,114

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という)は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

なお、第164期第3四半期連結会計期間においては、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年9月30日現在

従業員数(人)	1,104 (320)
---------	-------------

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員（1日8時間換算）であります。

(2) 提出会社の状況

平成23年9月30日現在

従業員数(人)	652 (84)
---------	----------

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人員（1日8時間換算）であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

当社グループにおいては、当社及び連結子会社が営むガスセグメントが、生産、受注及び販売活動の中心となっております。

このため、以下はガスセグメントについて記載しております。

(1) 生産実績

ガスの生産実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	
	生産量(百万m ³)	前年同四半期比(%)
ガス	361	98.8

(注) ガス量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

(2) 受注状況

ガスについては、その性質上、受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

ガスは、導管を通じ直接お客さまに販売しております。また、他のガス事業者に卸販売しております。

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)				
	数量(百万m ³)	前年同四半期比(%)	金額(百万円)	前年同四半期比(%)	
ガス 販売 実績	家庭用	16	99.8	3,644	101.5
	業務用その他	339	99.6	22,314	110.7
	計	354	99.6	25,958	109.3
お客さま数		339,960戸		99.6	

(注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。

2 「お客さま数」には、卸販売先のお客さま数は含みません。

3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

4 上記数値は、セグメント間の内部取引を含んでおります。

5 主要な販売先として、国際石油開発帝石(株)へ卸販売をしております。同社への前第3四半期連結会計期間における販売実績は93百万m³、総販売実績に対する割合は26.3%であり、当第3四半期連結会計期間における販売実績は95百万m³、総販売実績に対する割合は26.7%であります。

なお、当社グループのガス事業セグメントは、上記のほか、LNGの販売を行っております。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間の売上高は、ガス販売単価の上昇等により、前年同四半期に比べ8.3%増の31,366百万円となりました。

一方、費用面では、原料価格の上昇等により売上原価が前年同四半期に比べ16.5%増の25,708百万円となり、売上高を上回る伸びとなりました。

この結果、営業損益は301百万円の損失、経常損益は316百万円の損失、四半期純損益は354百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

ガス

ガス販売量は、工業用で新規大口物件の開拓が進んだものの、業務用で省エネ意識の高まりにより空調需要が減少したことなどから、前年同四半期に比べ0.4%減の354百万m³となりました。

ガス売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により27,320百万円となりました。

一方、費用面では、原料価格の上昇等により売上原価が増加したことなどから、営業利益は343百万円となりました。

LPG・その他エネルギー

LPG販売は、販売単価の上方調整等より売上高は2,436百万円となり、営業利益は43百万円となりました。

その他

工事売上の減少等により売上高は2,745百万円となり、営業損益は35百万円の損失となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ1,565百万円増の109,928百万円となりました。固定資産は静岡幹線関連等への投資を行う一方、既存設備の減価償却が進んだことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,368百万円減の87,971百万円となりました。流動資産は消費税等の還付などによりその他流動資産が減少する一方、原料価格の上昇等による原料在庫金額の増加や売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,933百万円増の21,957百万円となりました。

負債は長期借入金が増加する一方、原料価格の上昇等による買掛金や短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,933百万円増の55,140百万円となりました。

純資産は自己株式の取得等により前連結会計年度末に比べ1,368百万円減の54,787百万円となり、自己資本比率は42.6%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べ1,344百万円減の472百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は1,791百万円の収入（前年同四半期は5,875百万円の収入）となりました。これは、減価償却前利益は2,685百万円となりましたが、仕入債務が増加する一方で、たな卸資産や売上債権が増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は3,847百万円の支出（前年同四半期は3,773百万円の支出）となりました。これは、静岡幹線建設工事をはじめとする投資を行ったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は711百万円の収入（前年同四半期は1,837百万円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済や自己株式の取得等による支出があったものの、運転資金需要等に対応して短期借入金が増加したことなどによるものであります。

		前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	5,875	1,791
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	3,773	3,847
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,837	711
現金及び現金同等物の 四半期末残高	(百万円)	1,002	472

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の研究開発費の総額は1百万円であります。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	76,192,950	76,192,950	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 500株
計	76,192,950	76,192,950		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		76,192,950		6,279		4,098

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年6月30日現在で記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 51,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 76,107,500	152,215	
単元未満株式	普通株式 34,450		一単元(500株)未満の株式
発行済株式総数	76,192,950		
総株主の議決権		152,215	

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 静岡瓦斯株	静岡県静岡市駿河区八幡 一丁目5番38号	51,000		51,000	0.06
計		51,000		51,000	0.06

(注) 平成23年9月30日現在の自己株式数は3,051,679株であります。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	513	505	525	517	509	455	518	517	525
最低(円)	469	463	352	452	436	414	457	458	463

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部における株価であります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当第3四半期報告書提出日までに、役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則及びガス事業会計規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則及びガス事業会計規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	25,903	29,291
供給設備	30,722	32,951
業務設備	3,833	3,981
その他の設備	4,551	4,940
建設仮勘定	5,787	3,385
有形固定資産合計	70,798	74,550
無形固定資産	2,073	1,580
投資その他の資産		
投資有価証券	6,660	7,239
長期貸付金	5,610	3,811
繰延税金資産	2,075	1,544
その他投資	1,002	859
貸倒引当金	249	246
投資その他の資産合計	15,099	13,208
固定資産合計	87,971	89,339
流動資産		
現金及び預金	495	756
受取手形及び売掛金	10,158	8,989
商品及び製品	330	305
原材料及び貯蔵品	7,809	4,573
繰延税金資産	842	831
その他流動資産	2,383	3,625
貸倒引当金	62	58
流動資産合計	21,957	19,023
資産合計	109,928	108,362

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	27,240	29,248
繰延税金負債	1	19
退職給付引当金	2,704	2,941
ガスホルダー修繕引当金	207	196
負ののれん	549	725
その他固定負債	553	674
固定負債合計	31,257	33,807
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,372	6,882
買掛金	7,249	5,083
短期借入金	6,970	1,586
未払金	1,163	957
未払法人税等	878	1,056
賞与引当金	928	447
その他流動負債	1,319	2,384
流動負債合計	23,883	18,399
負債合計	55,140	52,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	36,000	35,718
自己株式	1,550	26
株主資本合計	45,318	46,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,506	1,753
繰延ヘッジ損益	-	12
評価・換算差額等合計	1,506	1,741
少数株主持分	7,963	7,853
純資産合計	54,787	56,155
負債純資産合計	109,928	108,362

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	88,528	93,369
売上原価	65,674	73,040
売上総利益	22,854	20,329
供給販売費及び一般管理費	18,357	18,003
営業利益	4,496	2,325
営業外収益		
受取利息	53	77
受取配当金	93	86
負ののれん償却額	181	176
雑収入	214	243
営業外収益合計	542	585
営業外費用		
支払利息	506	449
雑支出	20	26
営業外費用合計	526	475
経常利益	4,512	2,435
特別利益		
固定資産売却益	439	77
投資有価証券売却益	1	-
移転補償金	73	-
特別利益合計	514	77
特別損失		
固定資産売却損	2	-
投資有価証券評価損	10	242
特別損失合計	13	242
税金等調整前四半期純利益	5,014	2,269
法人税等	1,807	795
少数株主損益調整前四半期純利益	-	1,474
少数株主利益	497	544
四半期純利益	2,709	929

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	28,963	31,366
売上原価	22,059	25,708
売上総利益	6,904	5,657
供給販売費及び一般管理費	1 6,309	1 5,959
営業利益又は営業損失()	594	301
営業外収益		
受取利息	19	27
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	59	59
雑収入	49	48
営業外収益合計	129	136
営業外費用		
支払利息	170	150
雑支出	6	1
営業外費用合計	177	152
経常利益又は経常損失()	546	316
特別利益		
固定資産売却益	439	-
特別利益合計	439	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	8
特別損失合計	-	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	986	325
法人税等	350	114
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	211
少数株主利益	116	143
四半期純利益又は四半期純損失()	518	354

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,014	2,269
減価償却費	9,608	8,885
負ののれん償却額	181	176
有形固定資産除却損	47	47
投資有価証券評価損益（は益）	10	242
貸倒引当金の増減額（は減少）	1	7
退職給付引当金の増減額（は減少）	215	237
ガスホルダー修繕引当金の増減額（は減少）	22	11
賞与引当金の増減額（は減少）	682	480
受取利息及び受取配当金	147	164
支払利息	506	449
有形固定資産売却損益（は益）	436	77
投資有価証券売却損益（は益）	1	-
売上債権の増減額（は増加）	2,052	1,171
たな卸資産の増減額（は増加）	318	3,255
仕入債務の増減額（は減少）	4,646	2,135
未払又は未収消費税等の増減額	1,720	860
その他	1,117	1,328
小計	5,693	8,978
利息及び配当金の受取額	147	164
利息の支払額	553	487
法人税等の支払額	5,008	713
営業活動によるキャッシュ・フロー	279	7,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	19	16
定期預金の払戻による収入	25	16
有形及び無形固定資産の取得による支出	7,005	6,021
有形及び無形固定資産の売却による収入	597	86
投資有価証券の取得による支出	20	3
投資有価証券の売却による収入	11	0
貸付けによる支出	1,560	1,950
貸付金の回収による収入	162	150
工事負担金等受入による収入	339	23
その他	631	255
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,100	7,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	5,907	5,383
長期借入れによる収入	3,750	2,750
長期借入金の返済による支出	5,184	6,269
自己株式の取得による支出	-	1,525
配当金の支払額	681	647
少数株主への配当金の支払額	13	434
その他	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,777	743
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	4,043	261
現金及び現金同等物の期首残高	5,046	734
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,002	472

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更 資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 この変更による損益への影響はありません。

【表示方法の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。 (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係) 前第3四半期連結累計期間において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「自己株式の取得による支出」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「自己株式の取得による支出」は 0百万円であります。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

【簡便な会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。 2 たな卸資産の評価方法 当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。 また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。 3 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	
税金費用の計算 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は177,945百万円 であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は170,080百万円 であります。
2 保証債務は次のとおりであります。 下記関係会社の金融機関からの借入に対し、債務 保証を行っております。 静岡パイプライン(株) 3,400百万円	2 保証債務は次のとおりであります。 下記関係会社の金融機関からの借入に対し、債務 保証を行っております。 静岡パイプライン(株) 1,960百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
1 このうち、主要な費目及び金額は次のとおりで あります。	1 このうち、主要な費目及び金額は次のとおりで あります。
給料 3,667百万円	給料 3,722百万円
減価償却費 5,243百万円	減価償却費 4,981百万円
賞与引当金繰入額 1,012百万円	賞与引当金繰入額 835百万円
退職給付費用 476百万円	退職給付費用 509百万円

前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
1 このうち、主要な費目及び金額は次のとおりで あります。	1 このうち、主要な費目及び金額は次のとおりで あります。
給料 1,233百万円	給料 1,246百万円
減価償却費 1,810百万円	減価償却費 1,712百万円
賞与引当金繰入額 608百万円	賞与引当金繰入額 432百万円
退職給付費用 160百万円	退職給付費用 170百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 1,025百万円	現金及び預金勘定 495百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金 22	預入期間が3か月を超える 定期預金 22
現金及び現金同等物 1,002	現金及び現金同等物 472

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	76,192,950

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	3,051,679

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月24日 定時株主総会	普通株式	304	4.0	平成22年12月31日	平成23年3月25日	利益剰余金
平成23年8月4日 取締役会	普通株式	342	4.5	平成23年6月30日	平成23年9月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の金額の著しい変動

当社は、取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第3四半期連結累計期間に1,524百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,550百万円となっております。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

	ガス	L P G・そ の他エネル ギー	その他	計	消去 又は全社	連結
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	24,886	2,337	1,739	28,963		28,963
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	165	60	1,031	1,256	(1,256)	
計	25,052	2,397	2,770	30,219	(1,256)	28,963
営業利益又は 営業損失()	1,339	39	54	1,323	(728)	594

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分	主要な製品
ガス	ガス、L N G
L P G・その他エネルギー	L P G、オンサイト・エネルギーサービス
その他	ガス工事、ガス機器、リフォーム事業、事務機器等のリース

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	ガス	L P G・そ の他エネル ギー	その他	計	消去 又は全社	連結
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	74,950	8,269	5,308	88,528		88,528
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	540	227	3,670	4,437	(4,437)	
計	75,490	8,496	8,978	92,966	(4,437)	88,528
営業利益又は 営業損失()	6,057	671	73	6,655	(2,158)	4,496

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分	主要な製品
ガス	ガス、L N G
L P G・その他エネルギー	L P G、オンサイト・エネルギーサービス
その他	ガス工事、ガス機器、リフォーム事業、事務機器等のリース

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当する事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

海外売上高がないため該当する事項はありません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、都市ガス及びLPG普及を中心とした「総合エネルギー事業」を展開することを基本としており、製品・サービス別のセグメントである「ガス」及び「LPG・その他エネルギー」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品・サービスは以下のとおりであります。

「ガス」・・・ガス、LNG

「LPG・その他エネルギー」・・・LPG、オンサイト・エネルギーサービス

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	79,386	8,364	87,750	5,619	93,369		93,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	436	257	693	2,620	3,313	3,313	
計	79,822	8,621	88,443	8,239	96,683	3,313	93,369
セグメント利益又は セグメント損失()	3,779	684	4,463	17	4,446	2,120	2,325

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 2,120百万円には、セグメント間取引消去205百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,325百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	L P G・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,167	2,375	29,542	1,824	31,366		31,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	153	61	214	920	1,135	1,135	
計	27,320	2,436	29,756	2,745	32,502	1,135	31,366
セグメント利益又は セグメント損失()	343	43	387	35	351	653	301

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 653百万円には、セグメント間取引消去68百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 721百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)		前連結会計年度末 (平成22年12月31日)	
1株当たり純資産額	640円19銭	1株当たり純資産額	634円36銭

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	35円57銭	1株当たり四半期純利益	12円21銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益 (百万円)	2,709	929
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	2,709	929
普通株式の期中平均株式数 (株)	76,142,408	76,042,912

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	6円81銭	1株当たり四半期純損失()	4円67銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益 又は四半期純損失() (百万円)	518	354
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失() (百万円)	518	354
普通株式の期中平均株式数 (株)	76,142,182	75,848,039

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成23年8月4日開催の取締役会において、第164期の中間配当を行うことを決議しました。

中間配当総額 342百万円
1株当たり中間配当額 4円50銭
支払請求権効力発生日 平成23年9月1日
並びに支払開始日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年11月4日

静岡瓦斯株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 向 眞 生

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 谷 津 良 明

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている静岡瓦斯株式会社の平成22年1月1日から平成22年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、静岡瓦斯株式会社及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

静岡瓦斯株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 浅野 裕史

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 谷津 良明

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている静岡瓦斯株式会社の平成23年1月1日から平成23年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、静岡瓦斯株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。